

浅草寺志

四

内閣文庫		和書類
九二函架	三七二一冊	
		四才

内閣文庫		
番號	和	22711
冊數	30 (4)	
函號	192	306

内閣文庫



A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

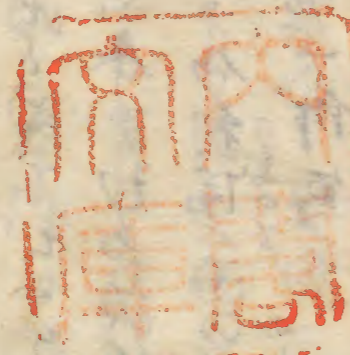
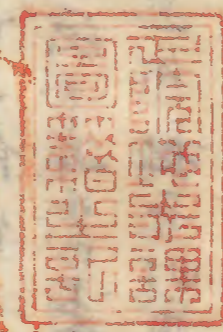
Kodak Gray Scale



© Kodak, 2007 TM: Kodak



河内



朽木文庫

依乃門

内一〇九〇七號

存一也双方和後仕入均細子小御奉紙様也
川山等、此又、五等、少子

寛文四年十一月

寺在石橋門下

能成左衛門守

守 隆文守

小房在石橋門下

苗以多在原門下

世村吉吉文致

一 此新少院又日老不考之文致不右之替地勢示院口傍

一 日辰十月 田町口傍不右之替地勢示院口傍

一 所奉新院造大陽寺様也 月代御書 石上智光院新

一 通所委託すべし列町石田町寺々々々 列町石田町寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 田町石田町寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

一 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々 寺々々々

申三月

松平山城守 印判

小溝あり紙漉あり

獅子舞六人屋敷地 田町の南あり 九百坪あり 三社権

院系礼の付獅子舞の流を伝へて 傳法

院あり地あり

膳藏院下屋敷地 六丁伊賀寺敷下をまの山あり 六百三十三坪あり

医王院下をま地 膳藏院下をまの山あり 千七百三十三坪あり

頭松院下をま地 医王院下をまの山あり 五百坪あり

金藏院下をま地 頭松院下をまの山あり 二百坪あり

松秀院下をま地 金藏院下をまの山あり 五百坪あり

寺あり地あり 松秀院下をまの山あり

常音坊下をま

下をま

富士浅間社 砂利場あり 西に北谷 修善院持

本社二間四方南向

奈神駿河國富士山小田一神跡富士権現寺僧形ありて

里像張の詩を担ぎ胸を合せて輪寶をけりて 本像あり

神寶に富士名とりあり 高三寸 許横五寸 許富士

山のつららの自然石なる社に元禄の頃始て然生と云ふもの

に北にけりて以蘆筈と傳ふるもの 寺の古像ありて

ありてありてありて 山となりて富士権現と勅記あり

古老のありてありて 後殿三間二間 拜殿三間二間 拜

板坂卜齋稻荷社 智光院下を委の内

社茅葺庚間四方 額板坂稻荷社白木地隸書隸青字筆

者不知 末鳥居高六尺樵四尺二寸 檜樹二株稻荷の

今亦不之むうハ大小ハ一ツハ一ツハ今ハ僅小好コト

ハナリ森 稻荷の表を以て作ス

専南坊下を委地 教善院のうらうら

教善院下を委地 専南坊下を委の物産ハ五

正福院下を委地 教善院下を委の物産ハ五ハ百十坪有

已 妙音院下を委地 正福院下を委の物産ハ五ハ百七十坪有

已 妙音院下を委地 妙音院下を委の物産ハ五ハ百九十坪有

延命院下を委地 妙音院下を委の物産ハ五ハ百九十坪有

延命院下を委地 妙音院下を委の物産ハ五ハ百九十坪有

六卿伊賀守殿下屋敷

安永二年癸巳二月 伊賀守殿浅草居屋敷坪数屋敷改之

御方ニ並リ申觸。付書付差出。日記の写左の如し

寛

一 上^{并領}屋鋪 下谷産徳寺後三子ハ百六拾五坪

一 下屋鋪 右田所三百ハ拾五坪

一 右者上屋委地之方沼地之所一ノ一圍也至ヤハ

一 浅草觀音後七千七百五拾五坪

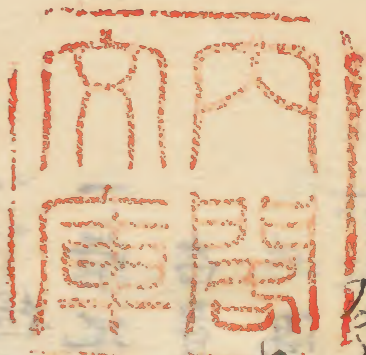
從前ニ改修居来

一 借地 右同所三千三百九拾三坪

右者下屋委東之方地後故長形ノ改一回至ヤハ

浅草寺 無勤院 修善院 地面入組

右ノ外抱を委地所を委所並ハ委地等自分ナ不



及中家来男女厄介少と在持し各以住不以上
お永二癸巳年十一月九日 柳ノ間序

奥北在厄介
宝賀寺
永井傳左馬守
後迄忠四郎

別紙

一百三拾五坪 浅草寺地面
一千九百八拾四坪 云勤院地面
一千貳百七拾四坪 修善院地面
又三百三十九拾三坪
所小天享吾妻澁山元禄十一戌寅年十月廿日

一浅草町野酒之丞了ヶ屋布ヲ増坪ニテ被下

日音院下屋敷地 六郷伊賀守殿屋敷の西隣三百坪あり

馬場 奥山の北回のかすま 某の如く馬場浅草親多の如く
江戸幸子 浅草の馬場浅草親多の如く 裏門ありの馬場
此所毎 再打江戸麻子ノ親多の如く 此所伊賀
と及口を及す

馬場若衛門馬場の地子住居ニ代々役をつとむ

浅草寺親薄寶曆四年四月廿一日

一親音堂後馬場之儀古來如何故し況し馬場之成未だ今日
中書付書德若心一平山町所奉新所は只今も也村公及在門
方分少くは町名主立高馬方と申すも右妙徳院修善院
裏通一馬場有し其馬場未だ也是地備し其昔借地之内
勝手は改馬場也其地中五石源は其親音堂裏馬場
故に恒成書留し其地石分書留す所は其地助右方
寺は馬向所也其地助右方中書多南山に故に古來分
所新築所し大伽藍靈瑞也如是火災有し其寛永年
中所建立之後同也其地燒了し其書留所再建し其地
其初は南山四方火除し空地と稱し其後其地は其地
故に右方は其地分南、度小路西、火除し田畑也其地
空地今も右方は右方空地住還取近辺に其方分借

馬の者も其地分南、度小路西、火除し田畑也其地
空地今も右方は右方空地住還取近辺に其方分借
其地分南、度小路西、火除し田畑也其地
空地今も右方は右方空地住還取近辺に其方分借

右像地藏 奥山乾比外より其地分南、度小路西、火除し田畑也其地
空地今も右方は右方空地住還取近辺に其方分借

其地分南、度小路西、火除し田畑也其地
空地今も右方は右方空地住還取近辺に其方分借
其地分南、度小路西、火除し田畑也其地
空地今も右方は右方空地住還取近辺に其方分借

矢行衛故不得止事宝奉口宣而悲被損父之志願想空况
為祈二親追福法口靈今年造之後先尊像者也嘉善安

窓了然法子蓮善梅心惠香法尼宝曆六丙子年七月八日
地主山山氏宮田氏以上付蓮臺の下方銘也三界萬靈

左右兩行文字磨妙正童女寛政六甲寅年十一月三日浅
城以上前銘草南馬道町再與願主萬屋喜兵衛以上明和九年壬辰口

四月八日勸喜右工門以上寛政五己三月十六日花屋妙
黛信女天明二寅十一月廿四日春燒童子寛政五己七月

六日延寿童子森勘三衛詳寛政元己酉壬六月二日釋教
童子忍屋左兵衛以上

地塚 六口赤屋及此表門を二丁を南田。中子あり、小子
坊へ是角の本あり、地多しと云 再校江戸砂子小浅子
ちのさしと田の中より一孫の子ありて今も此多し

と云

行系此岸 多心此岸よりあれ友ありと云 再訂庵より
并系此岸ありも多しと云 風の吹きしはて行系なり法
て名ゆとすしと云

枕橋 多心此成の方中及取の道くゆ、所此備より
石石橋の石よりと云くりつと云 各長三人許 江戸砂
子枕橋女團交字此石橋也 坊浦御法石名集子枕
橋ゆりりありしてけりありと云

中文圃 多下ちのちのたも 通 字を東ハ後多し
再校江戸砂子女圃又下ちの所より吉系、ゆりると云

○長遠山慶印寺 及圃あり日蓮宗

○勝光山萬隆寺北寺町慶印寺南隣禪宗

○妙祐山幸龍寺北寺町萬隆寺南隣日蓮宗

○神田山日輪寺北寺町時宗 幸龍寺南隣浄土

○田嶋山誓願寺北寺町 高龍山報恩寺田原丁一向宗。田中山清光寺田原丁時宗。田嶋山大聖寺田原丁禪宗。

田原町 仲町北西三町あり 湯屋の井 田原町三丁目あり

紙漉町 江戸麻子子浅草田原町の松谷あり此石より返

魂紙を製表して

別紙。丹波稻荷社普正江戸本丹波北面の内子五丹波長谷を丹波田原のもの多し。此骨を丹波を名のもの多しと云ふ又きんころりもかきと云ふ

○三島門前

江戸麻子子浅草田原町の南に三島の社紙漉町あり

○三島大明神社

江戸砂子子清水以多りの物也田原の倉及近石神社考曰
聖武天平七年三嶋明神出現 江戸志子西藏院持社傳

小いゝゝ南社往古上代の藪坂にあり元禄の以じ地

有移りゝゝ神社啓蒙曰天言記大山祇命也改曆推事

曰崇峻帝御宇庚戌出現と云かくみゆりて南社も此地

○里弘町代地 堀近江戸殿屋敷の東

泉住寺 黒船町代地あり浅草子の末寺金龍山と云そ

本社 辨天 九方工蔵造 稻荷不動十一面觀音此觀音弘法大師の

作してありてある心してありと云 渡殿九尺一間

并殿二間四方 江戸砂子子早玉寺天稻荷熊野三

社勸請神主曾根外記

○福川町 黒船町代地の山より

○八軒町 稻形町の山より

三軒町 稻形町の山より 合殿飯細橋尻ひゝゝあけりゝゝ

宮戸森稻荷社 三軒町より 別當當山修験 稻光山相國寺

宝幢院 本社二間四方 渡殿二間一門 拜殿二間二

間四尺拜殿額 金龍山觀世音 大防飯綱大權現 大天狗小天

狗東京長橋賢佐敬書 堅額金地行書金字 額狂歌權額

薄十月の画後満筆 狂哥讀人允四十一人 額僧正功午

若九画田中蝶筆 拜殿柱聯松茂行遠身是嶽 山鳴谷

應靈如泉 石東岳司直題墨川傳書 水地草書糾字什物知樂

院僧正筆跡掛物一幅

石手水鉢 縦二尺六寸 横一尺二寸五分 銘奉寄進 正面上

三軒町寛政三辛亥九月吉日 以上 世詔人身身番新助

平助權助 以上 再修又兵衛高林助右衛門石工笹竹三四郎

以上 再取江戸砂子神社の遷移の由とありて記音出の始生あり
後 江戸森宮戸川多下の古名ありとあり二の修繕に記音ありとのりあり武

宮戸川 古蹟 宮戸森 稻荷 畧録記

抑宮戸森 稻荷大明神 一ノ子 一ノ子 一ノ子 一ノ子 一ノ子 一ノ子

之の御宇武東中千束と申雲霖雨降つて三途浪川迄小
み多し急流水の如き湖三のりして上流は村の童みせ
人なりけり草野つんば成りて雲霧の方より思ひ
作らるるのゆゑに 耀々として旭の色にみちみちと
つれみ流るるさうのてし先をせんとうとぬ一人の童雲の
中より入るゝとの氣有よま令狐の令狐れいもつり
りりあけ懐かかたけもたけとけりとしてありよか
つりりあけ懐かかの童みちとして日あからぬ稲荷外あり
いそよせりて 稻倉大如蓋建なりてち獲のた免まふ
未とぬはやく宮小稲一葉りたりて南村市親と除き火
災とよけ大穀成死しんとてきりわて親成との近隣者
おのれと申し駿希と信し二月のた高石と助清しりて
宮戸森 稻荷大明神と仰まぬ依も今成早川と云ふ川

ヤ石舟と云り

飯綱権現略縁記

抑念龍山觀世音大防守護の木尊飯綱大権現大天狗小
天狗之躰の尊像と往古右左將作新輔之南山觀世音大
伽藍所建之く加々堂成就よんて京郊高雄山又免上
人々今隱倉大藏か谷大所堂よふてけとそと彫刻を
已南山觀世音大防の本尊の納所よ昔今所本尊の祿承
し上右運く所よ尊も飯綱大権現の所中地聖不動明
王諸尊退教大防結護の尊像也大天狗之所本地ハ觀世
音三十三身の内天大此將軍の御形く小天狗の御形
是又之十二身の内迦撰天と諸の福大尊と告りよ此
姿此三尊汝一度拜け此紫ハ大員汝免家内安全強運
増長寿命永盛の御誓願也南山洞帳の砂すして五す

事ありの能所信心下有る也

再投江戸砂あふ飯綱権現祿承いられの他もこと此
版士大天狗小天狗又免上人の化すく今この後防の
地よあり 江戸志子浅草観世音因帳の時大防の新
禊をまな毎よけ飯綱権現よありてりあり今ハ高戸
貴福高のは因よありと求法雜記よる也

西仲町 三行町の事

東仲町 西仲町の事

江戸康より浅草寺雷作門あか門跡よへあり庭小路

浅草町 山谷町と十塚町との間の竹の多し此子と紅葉を
 みる

寶珠稻荷社 浅草町東側五間 裏行二十間 別當天

台羽黒方修験法カ院 本社二間九尺 神祇百帝像長七寸許少所とツラ

并殿 扁石 不動各一軀立像 聖天江戸聖天百社第二

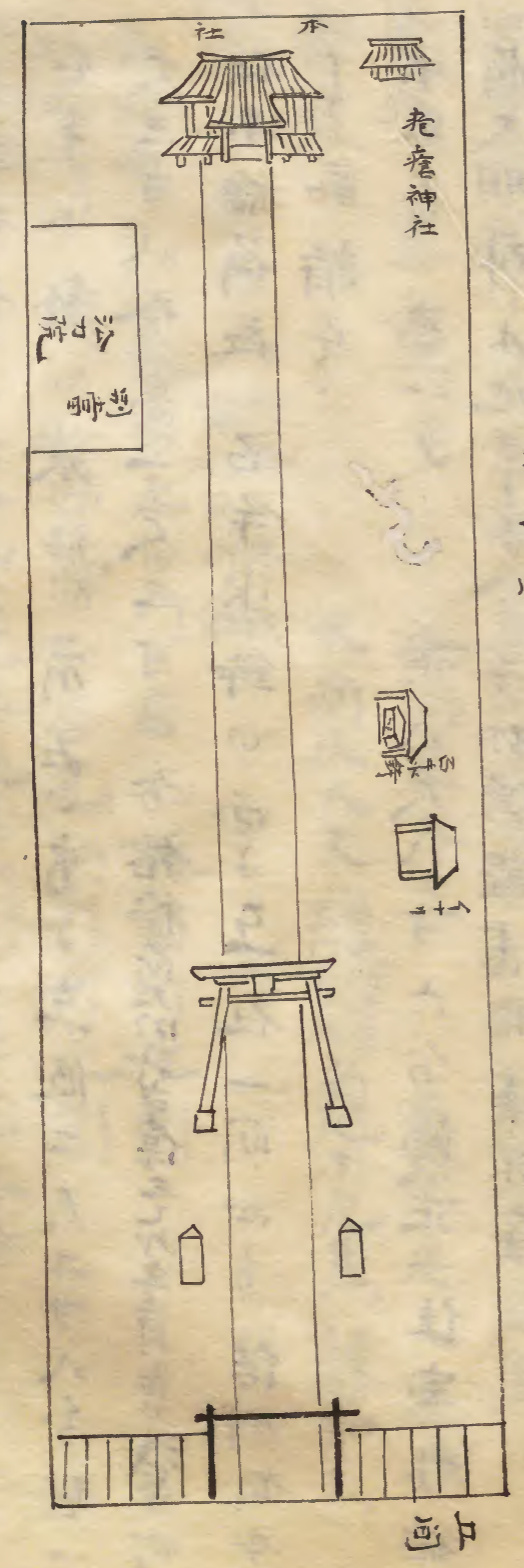
為目 麁口銘新吉原江戸町壹町月海老屋藤八家内安全

享和元年酉年七月吉日 麁口無銘

南社錢堂の年曆詳々にして之も法カ院の持てありし
 文化は今より百七十年より明和九年目黒江人邸より
 出火の時災より今この社と建立をそのうゝ南不淺草より
 の代化とありし時ハ稻荷の社比らうに表れんうりて了

浅草町寶珠稻荷境内図

二十間



の降化子まろし〜ハラの後南木の氏子〜地を買求て社
内としりむけ所ハ之社権現の氏子〜れも安小て出〜の
〜ハ福荷と氏子の〜た〜と〜

抱瘡神社 本社の東南の方ハ五社五尺五寸ハ三尺

石手水鉢 本社の前ハ五尺五寸ハ五尺二寸八分横一
尺三寸八分高一尺三寸二分銘福荷左の保三分享月吉淺草町

松本福荷社 石手水鉢の西ハ五社一間四方信列松本

〜勸請〜云

木鳥居 高一丈五尺八寸六分額正一位宝珠福

荷大明神 本地草書金字林煥謹書楷書朱字

碑 鳥居の前左右ハ五共高二尺一寸六分銘寶珠福荷

大明神別當法力院寛政十戌年六月吉日 右の方銘天下

春平五穀成就町内氏子中

淺草寺代官

元禄之比分享保之比迄 本間三郎兵衛 菊地惣左衛門

元文寛延ノ頃 本間左司 菊地助右衛門

宝曆天明ノ頃 本間庄太夫 菊地小左衛門

寛政ノ享和ノ頃 本間庄太夫 菊地定之進

當時 本間庄太夫 屋敷徳法院
裏門西小路 菊地小左衛門 表門前

淺草寺領名主 宝曆八年戊寅
江戸町鑑

諏訪町 内藤治九郎門 居宅諏訪町左側

駒形町 関口松四郎 居宅駒形町左側

清水駒形町之内 福荷門前 中山甚五郎門 居宅谷中

並木町茶屋町 鈴木伊兵衛 居宅並木町右側

三軒町 西中町 関口吉九郎門 居宅西仲町

田原町一丁目 二丁目 三丁目 荒川太郎左衛門 居宅

二丁目

雷神門分門流へ引道東仲町上下廣小路右、浅草寺裏
門茶方屋敷、稲垣次郎右馬門、居宅東仲町下
竹町渡場川邊、材木町、勝田権九郎、居宅材木町
雷神門分右へ川邊、花川戸町山宿町、三田三郎右馬
門、居宅山宿町

浅草寺地内三塔々寺町分、名之無、町々月形事珍
聖天町換町凡町浅草寺地内、毎行門分同左音門茶、江
口化丸馬、居宅聖天町換丁
祝言裏門馬道後浅草寺地内一丁目二丁目小丁道所匠之
院門茶浅草寺地内刻好、分敷、音柳宗龍、居宅浅草
寺二丁目、後尾小堀依源治
祝言裏門分、南馬道所浅草寺分天山下新町、梅村

左右馬門、居宅祝言裏門際

花川戸、後山宿右馬門、新川町山門町、新伏清音、居

宅依福町

山谷町、後浅草町、梅村仁左馬門、居宅祝言裏門

浅草寺組頭

名護屋分右馬門、比馬道今右馬宿右後分隠居

大攻屋嘉右馬門、南馬道、音麦分松桂居

井筒屋勘、南馬道町

浅草寺番匠

鈴木筑後、居宅妙音院地内、分敷、並小町今の格納

分の下の地内

鈴木丹波、居宅田原所三丁目

十番組

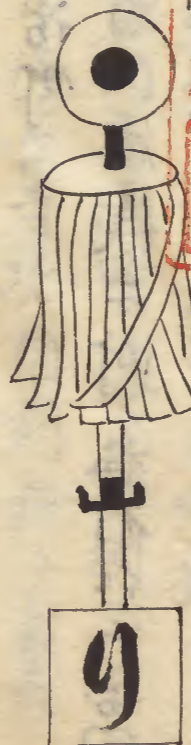
浅草三好町 黒船町 東中町 田原町
西中町 福川町 三箇町 人足貳百拾三人



十番組 花川戸町 六軒町 芝倉町 聖天町
人足百廿一人



十番組 新島町 浅草下 山谷町 今戸町 橋場下
東禅寺 心光院 不動院 前共 人足七十八人



宝曆八戌寅
江戸町鑑 上巻
見二

出

